

日刊建設工業新聞（2018年7月13日付3面掲載）
【オリコンサルグローバルがPM担当 トンガの埠頭改善完成】

トンガの埠頭改善完成
オリコンサルグ
ローバルがPM担当
オリエンタルコンサルタ



ンツグローバルがプロジェクトマネジメント（PM）を担当したトンガの「国内輸送船用埠頭（ふとう）改善計画」が完成した。写真。6月1日には首都ヌクアロファで竣工式が行われた。式典にはポヒヴァ首相兼外務相、石井哲也在トンガ大

使ら関係者が出席し、プロジェクトの完成を祝った。このプロジェクトは、ヌクアロファ港で小型国内輸送船用のファウア埠頭に旅客ターミナル（3階建て延べ2880平方メートル）や岸壁（延長90メートル）を新設し、船舶の大型化に対応する事業。国際協力機構（JICA）の無償資金協力（限度額33億2000万円）として、2014年から同社が準備調査や詳細設計、施工監理業務などを手掛けた。施工は東亜建設工業が担当。工期は33カ月。大型埠頭を整備することで、国内輸送と荷役作業の効率化が図られるだけでなく、荒天時の避難港としての活用が期待される。